

Press Release

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」まとまる

(公財)消費者教育支援センター(理事長・高部和子)と(公財)生命保険文化センター(代表理事・村井博美)は共同で「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」を実施しました。

この調査は、全国の高校生の消費生活と生活設計に関する実態を明らかにし、平成25年度から学年進行で適用される新学習指導要領を踏まえた学習指導、教材開発等の一助となることを目的とするものです。

《調査結果の主なポイントは次のとおりです。》

- お小遣いを「定期的にもらっている」のは約5割。4人に1人が「もらっていない」と回答。1ヵ月にもらっている金額は平均値で4,585円、中央値で4,107円。
- 携帯電話所持率は96.7%。そのうちスマートフォン所持率は1年生で約6割、2年生では約3割。
- インターネットでの購入経験があるのは3人に1人。支払い方法は、「代引き(商品が届いた際に代金を払う)」が最も多い。
- 約7割が「結婚したい」と回答。結婚希望年齢は「25歳」。
- 「将来子どもを持ちたい」のは約7割。持ちたい子どもの希望人数は「2人」。
- 「将来が思い描けるのは20歳まで」あるいは「全く想像できない」高校生が6割以上。
- お金や生活設計(ライフプラン)について「学んだことがある(「学んだことがあるが、覚えていない」生徒は除く)」との回答は約2割。

詳細は、次ページ以降をご参照ください。

<調査要領>

- (1)調査地域 全国
- (2)調査対象 高等学校1年生及び2年生
- (3)回収数 81校・3,213
- (4)調査時期 平成24年7月

<回収サンプルの主な属性>

	1年生	2年生
学年(%)	54.6	45.4

	男子	女子	回答なし
性別(%)	49.7	49.9	0.4

※ 本リリースは、日銀記者クラブ、文部科学省記者クラブに配布しています。

(公財)消費者教育支援センター 担当:柿野
〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目1番地小島ビル5階
TEL03-5919-4541 HP: <http://www.consumer-education.jp/nice/>

(公財)生命保険文化センター 担当:田名部・笹島
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号新国際ビル8階
TEL03-5220-8517 HP: <http://www.jili.or.jp/>

《主な調査結果は次のとおりです。》

I. 日常生活について

● 1年生にとって最も興味があるのは「部活動」、2年生は「ファッション」「マンガ」が上位に。

1年生にとって興味があることは、「部活動」が4割強と最も多く、次いで「ファッション」と「友達付き合い」が続いた。一方、2年生は「部活動」が約3割に減少し、「ファッション」、「マンガ」「ゲーム」「友達付き合い」と興味の幅が広がる結果となった。

なお、「勉強」に興味があると答えた高校生は、わずか1割にとどまっている。

興味があること（複数回答3つまで）〈学年別〉

	1 位	2 位	3 位
1年生	部活動 (43.0%)	ファッション (34.6%)	友達付き合い (32.1%)
2年生	ファッション (35.7%)	マンガ (33.1%)	ゲーム (32.9%)

II. お小遣い、アルバイト等のお金について

● お小遣いを「定期的にもらっている」のは約5割。4人に1人が「もらっていない」と回答。1ヶ月にもらっている金額は平均で4,585円。

全体では、約半数がお小遣いを「定期的にもらっている」と回答した。また「その都度もらっている」も含めると、4人に3人がお小遣いをもらっているという結果であった。

お小遣いの有無〈全体〉

■ 定期的にもらっている □ その都度もらっている □ もらっていない

全体	52.9%	22.3%	24.7%
----	-------	-------	-------

1ヶ月にもらっている金額は平均で4,585円、中央値で4,107円であった。中央値で見ると、男女では大差ないが、学年では1年生の3,831円に対し、2年生4,574円と約700円高くなっている。

1ヶ月にもらっている金額〈学年別・性別〉

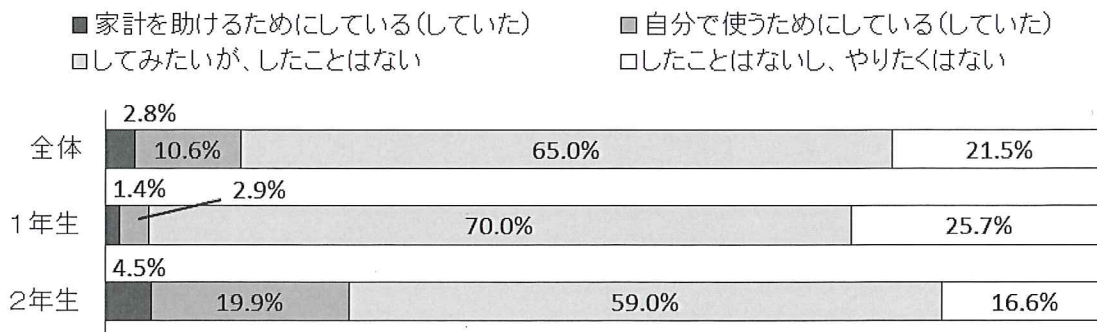
		平均値	中央値
学年別	1年生	4,453	3,831
	2年生	4,762	4,574
性別	男子	4,804	4,140
	女子	4,363	4,189
合計		4,585	4,107

(単位：円)

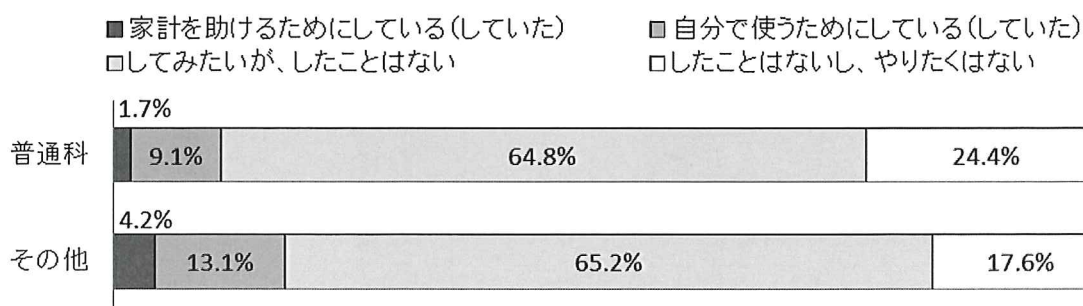
●アルバイトの経験は1割強。アルバイトによる1ヶ月の収入金額の平均は36,485円。

アルバイトの経験は「家計を助けるためにしている(していた)」「自分で使うためにしている(していた)」を合わせて全体で1割強であり、「してみたいが、したことはない」が6割を超えた。学年別では1年生より2年生の方が多く、経験者は4人に1人であった。また、普通科とその他の職業科の違いでみると、経験者は普通科以外の学科でアルバイト経験が多い傾向がみられた。

アルバイトの経験<学年別>



アルバイトの経験<学科別>



(注) その他…農業、工業、商業、水産、家庭、総合、その他

1ヵ月の収入金額は、平均値で36,485円、中央値で31,967円であった。中央値でみると、学年別では1年生28,125円、2年生34,577円と2年生の方が約6,000円高い。性別では、男子33,500円、女子32,778円と男子の方が約700円高い。

1ヵ月の収入金額<学年別・性別>

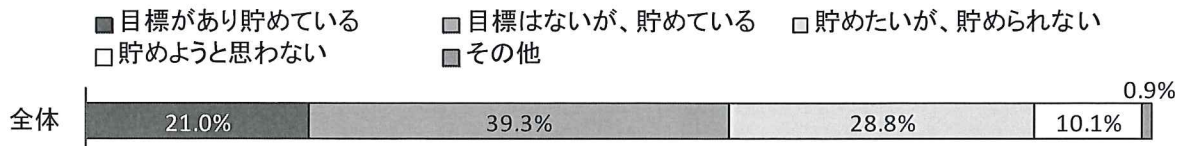
		平均値	中央値
学年別	1年生	29,811	28,125
	2年生	37,747	34,577
性別	男子	37,999	33,500
	女子	34,932	32,778
合計		36,485	31,967

(単位：円)

●貯金をしている高校生は約6割。目標をもってお金を貯めているのは約2割。

約6割の高校生が貯金をしているが、目標をもってお金を貯めている高校生は約2割程度にとどまっている。

貯金の有無<全体>



貯金の目的（自由記述）

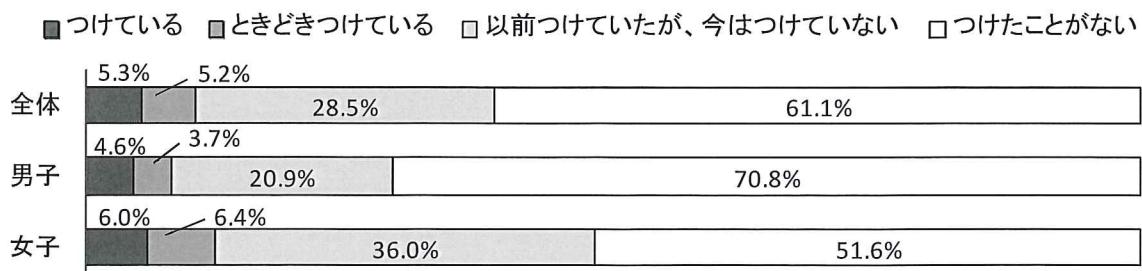
<主な回答>

・ 買いたいものがあるため (楽器・ゲーム・服・本・コンサートチケット等)	125人
・ 進学のため (大学・専門学校等)	57人
・ 遊び・旅行のため (遊びに行く・旅行に行く・ディズニーランドに行く)	43人
・ 将来のため (1人暮らし・夢のため・老後のため)	23人
・ 貯金	10人 等

●お小遣い帳を記録してお金の管理をしているのは約1割。

お小遣い帳を記録しているのは全体の約1割、「つけたことがない」のは約6割となった。性別では、男子の約7割がつけた経験がないと回答したのに対し、女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、約半数がお小遣い帳の記録を経験している。

お小遣い帳の記録<全体・性別>

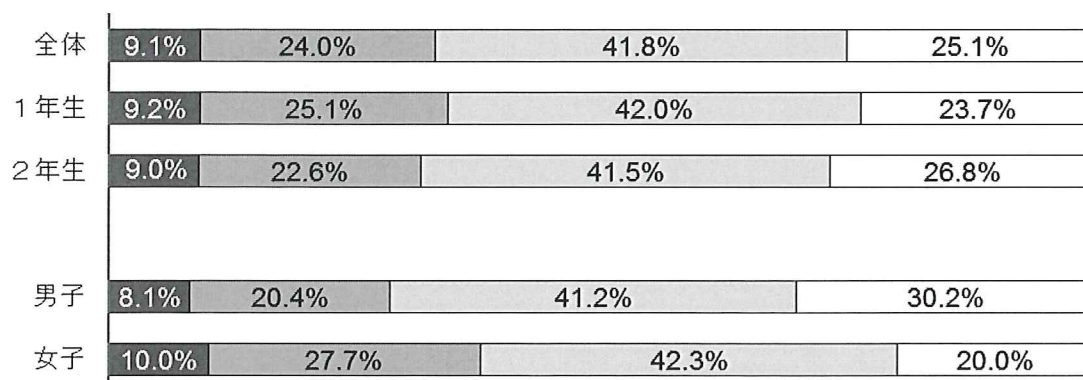


●お菓子や飲み物を買う時、約3割がテレビCMに影響。

約3割がテレビCMに流されやすいと回答した。性別では、4割近い女子がテレビCMに影響されやすい傾向にあった。

テレビCMに影響されやすい<全体・学年別・性別>

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない



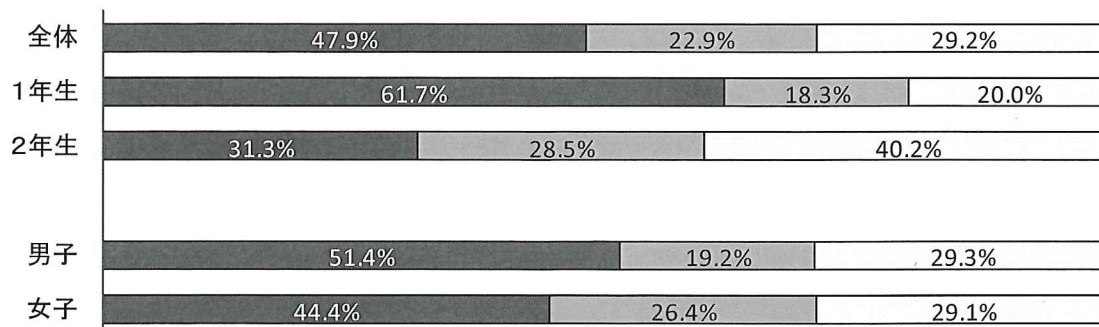
Ⅲ. 携帯電話・インターネットについて

●携帯電話所持率は96.7%。そのうちスマートフォン所持率は1年生で約6割、2年生では約3割。

全体では半数弱がスマートフォンを使用しているが、学年差が大きく、2年生で約3割に対し、1年生は約6割となった。性別では、男子の方が高い傾向にある。

スマートフォンの所持<全体・学年別・性別>

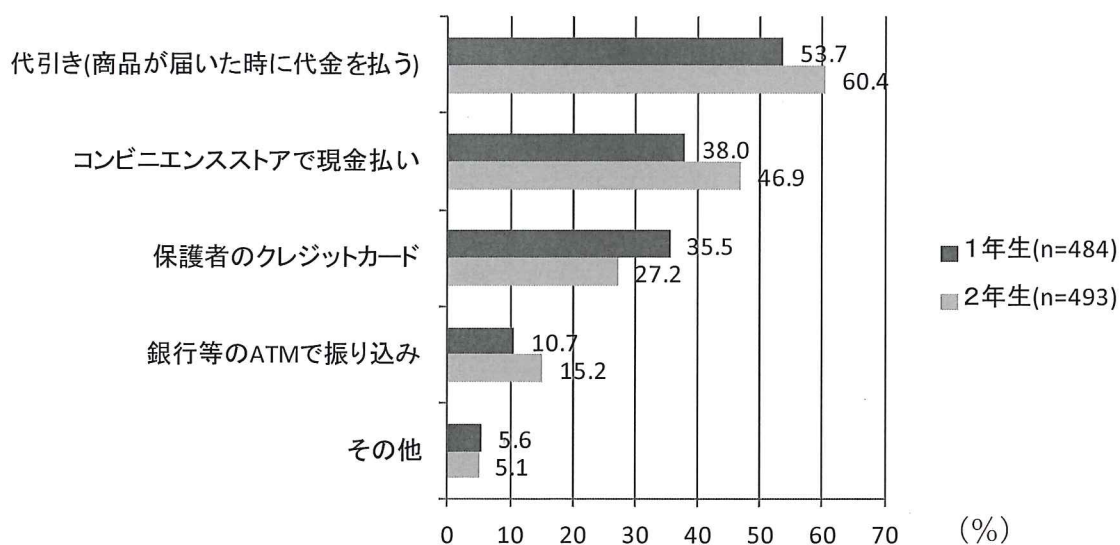
■使っている □使ってみたいが、使っていない □使っていない



●インターネットでの購入経験があるのは3人に1人。支払い方法は、「代引き（商品が届いた際に代金を払う）」が最も多い。

インターネットでの購入経験に関して、全体で「よく買う」「ときどき買う」を合わせると33.1%で3人に1人という結果となった。購入時の支払い方法は、「代引き（商品が届いた際に代金を払う）」が最も多く、次いで「コンビニエンスストアで現金払い」「保護者のクレジットカード」が続いた。

インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜学年別＞

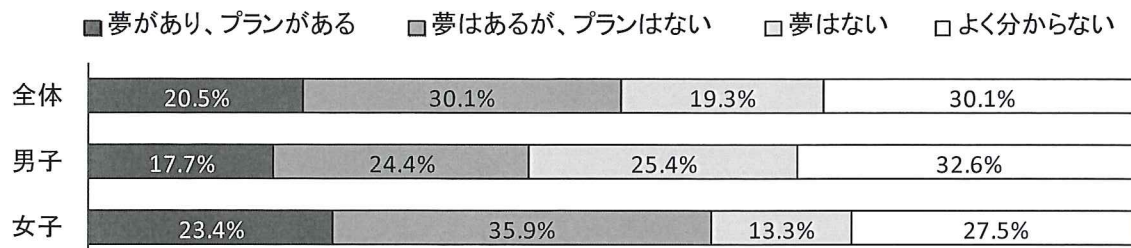


IV. 将来について

●将来の夢があり、そのための計画があるのは2割程度。

将来の夢に関して、約半数が「夢がある」と回答した。そのうち「夢がありプランがある」と回答したのは約2割であった。性別では、男子の約4割が「夢がある」と回答したのに対して、女子は約6割という結果となった。

将来の夢があるか＜全体・性別＞



将来の夢についての自由記述では、具体的な職業名と将来の理想像を記入するケースがあった。職業名については「教師」が最も多く、次いで「保育士」「看護師」が多くみられた。将来の理想像については、「人の役に立つような仕事」「安定した職業」などの記述がみられた。

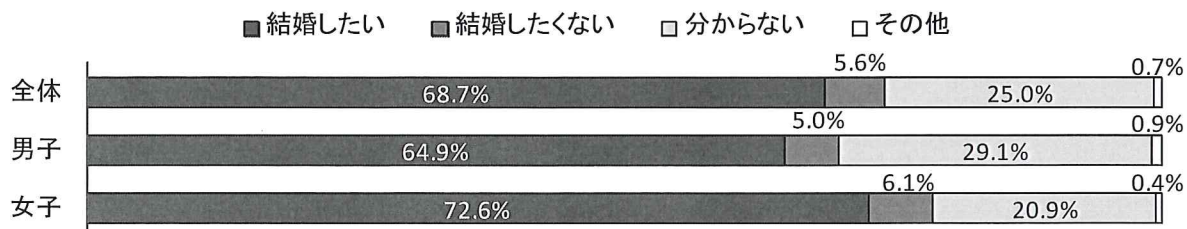
将来の夢（自由記述）

《職業》	人数	《将来の理想像》	人数
・教師	136人	・人の役に立つような仕事に就きたい	10人
・保育士	70人	・安定した職業に就きたい	6人
・看護師（助産師を含む）	52人	・結婚	5人
・美容師	26人	・幸せで楽しい家族を作る	5人
・薬剤師	25人	・人を幸せに出来る仕事	5人
・公務員	19人	・人の役に立つ人間になりたい	3人 等

●「結婚したい」のは約7割。結婚希望年齢は「25歳」。

約7割が「結婚したい」と回答した。一方「結婚したくない」も5%程度あった。性別では、男子に比べ女子の結婚願望が高い結果となった。結婚希望年齢については、「25歳」前後が目立った。

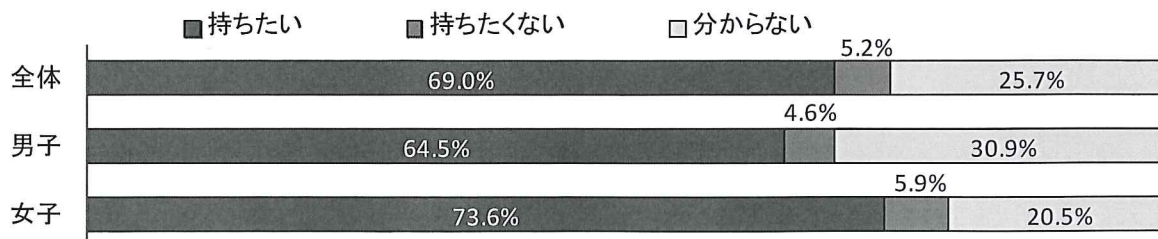
結婚願望＜全体・性別＞



●「将来子どもを持ちたい」のは約7割。将来持ちたい子どもの希望人数は「2人」。

将来子どもを持つことについて、全体の約7割が「持ちたい」と答えた。「持ちたくない」も約5%程度あった。性別では、男子に比べ女子の方が「子どもを持ちたい」傾向にあり、結婚願望と比例する結果となった。また、将来持ちたい子どもの希望人数では、「2人」という結果となった。

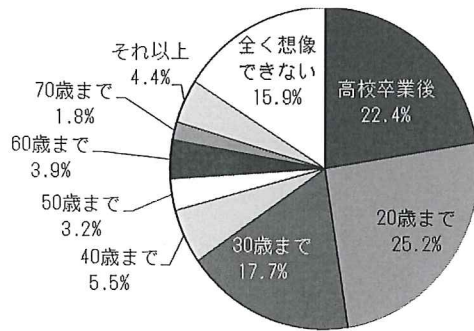
子どもを持ちたいか＜全体・性別＞



●「将来が思い描けるのは20歳まで」あるいは「全く想像できない」が6割以上。

将来が思い描ける年齢については、「20歳まで」が4人に1人と最も多く、次いで「高校卒業後」、「全く想像できない」と続いた。「高校卒業後」と「20歳まで」を合わせた回答が約5割を占めており、10年後、20年後、それ以上先の将来を描くことが難しいという結果となった。

将来が思い描ける年齢＜全体＞



●過半数が「将来不安なこと」として、「就職」、「高校卒業後の進路」と回答。

将来不安なことについては、「就職」、「高校卒業後の進路」が過半数を超えた。また、「自分や身近な人の死」、「結婚」、「地震などの自然災害」についても2割弱の回答があった。その他では、「お金」や「政治」についての項目が上がった。性別では、男子は「交通事故」「特にない」が女子より多く、女子は「高校卒業後の進路」、「地震などの自然災害」が男子より多い結果となった。

将来不安なこと（複数回答3つまで）＜性別＞

	1位	2位	3位
男子	就職 (62.6%)	高校卒業後の進路 (49.8%)	結婚 (19.8%)
女子	就職 (61.4%)	高校卒業後の進路 (60.6%)	自分や身近な人の死 (21.5%)

将来不安なこと（自由記述）

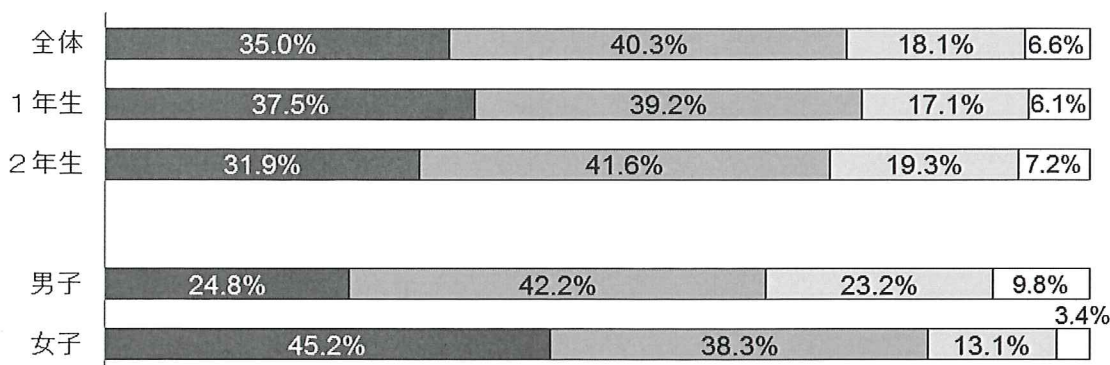
・就職できるかどうか	307人	・収入が得られるかどうか	18人
・大学進学について	97人	・自分がどうなるか分からない	16人
・自分や身近な人の死や病気	48人	・将来が想像できない	15人
・進路について	47人	・結婚出来るか	13人
・地震について	44人	・勉強	13人
・お金	36人	・夢が決まってないから	12人
・どうしたいか分からなく不安	32人	・色々と不安	11人
・大学進学、就職できるか	29人	・年金がもらえるか	11人
・就きたい職業に就けるか	24人	・進学や就職が出来るか	11人
・生活していけるか	23人	・仕事をしっかり続けていけるか	10人
・自立して生きていけるか	22人		
・どこに就職しているか	21人		
・働いているか	21人		
・進路が決まっていない	20人		

●保護者と「学校での出来事」について話すのは約7割だが、「お小遣いの使い方」や「今の家計の状況」について話すのは約3割。

約7割の生徒が保護者と「学校での出来事」について「話す」という結果となった。学年別では2年生に比べ1年生が、性別では男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。特に、性別の差が顕著にみられた。また、約3割の生徒が保護者と「お小遣いの使い方」や家庭における「今の家計状況」について「話す」と回答した。

学校での出来事<全体・学年別・性別>

■よく話す □ときどき話す □あまり話さない □まったく話さない



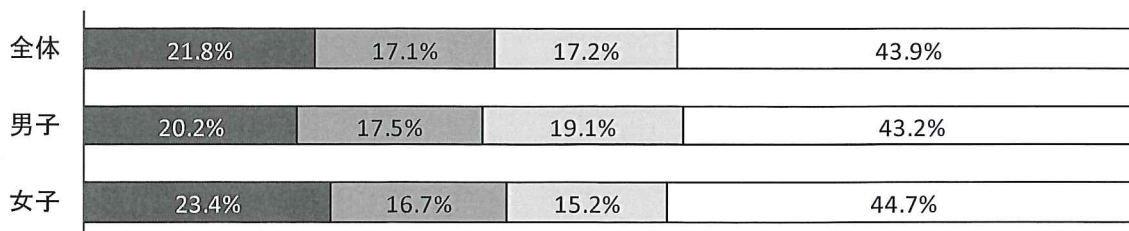
V. 高等学校での学習状況について

●お金や生活設計（ライフプラン）について「学んだことがある（「学んだことがあるが、覚えていない」生徒は除く）」との回答は約2割。

「お金や生活設計（ライフプラン）」について、「学んだことがある（「学んだことがあるが、覚えていない」生徒は除く）」のは約2割であった。「学んだことがない」は約2割、「よくわからない」は約4割となった。

「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験<全体・学年別>

■学んだことがある □学んだことがあるが、覚えていない □学んだことがない □よくわからない



以上